



津久井道と職人の街を歩く

津久井道は、江戸時代から炭や柿などを江戸城下に運ぶ街道だった。このコースでは、現在はない下駄、提灯、馬具などの職人の店が並んでいた津久井道・登戸宿の面影をたどる。

Check!

津久井道のデザインマンホール

（令和6年中設置）

登戸で親しまれてきた歴史資源を未来に継承し、地域への愛着を醸成する取り組みとして公募した津久井道沿道のマンホールデザインが、多摩区民投票により決定し設置された。

カラー版1カ所、通常版7カ所を設置



2 登戸の渡しと多摩水道橋

昭和28（1953）年に多摩水道橋が完成するまでは、渡し船が川崎と東京を結んでいた。下流から六郷・矢口丸子・二子・そして登戸・菅があった。東京都に送水するためにできた水道との併用橋として造られた多摩水道橋の完成により「登戸の渡し」は長い歴史に幕を閉じた。

多摩水道橋



10 大道橋

大道橋の付近は津久井方面と菅生方面に分かれる「追分」で、地の利を生かして明治20（1887）年頃から蘭の仲買人「そくざし」が店を構え始めたとされる。



津久井道と職人の街を歩く

距離：4km
時間：約2時間

1 南武線・小田急線登戸駅	2 登戸の渡し・多摩水道橋	3 光明院/北向地蔵・馬頭観音	4 丸山教	5 登戸稻荷社	6 善立寺	7 職人の街	8 小泉橋	9 寿々木饅頭・麹屋	10 大道橋	11 小田急線向ヶ丘遊園駅
200m	1.300m	150m	150m	400m	150m	500m	150m	200m	900m	

多摩区の農産物

8月中旬 多摩川梨

多摩川流域を中心に梨の一大産地が広がる。川崎が発祥地といわれる「長十郎梨」をはじめ、人気の高い「幸水」や「豊水」などさまざまな種類がある。糖度が高く、甘いのが特徴。



春には白い
きれいな花を
咲かせる

直売やもぎ取りも！

多摩区内の農園の情報については、7月頃にJAセレザ川崎のWEBサイトに掲載予定。

2月下旬～ のらぼう菜&かわさきつや菜

のらぼう菜は菜花の一種。菅地区では800年ほど前から栽培されており、今でも200軒の農家が栽培をしている。2月～5月上旬の収穫期は農家の軒先などで販売される。



レシピ

のらぼう菜はアグリ少く、甘みと独特的の香味が特徴。おひたしや胡麻和えはもちろん、生のままサラダにするのもおすすめ。フレーツと一緒にスムージーにしてみても◎

田村果樹園

5代目、田村賢太郎さんの祖父の農園。中野島駅から徒歩4分の場所に1ヘクタールの梨畠が広がる。販売品種は幸水、豊水、秀玉、あきづきなど7種類。園前の売店で直売・発送ほか、もぎ取りもできる（完全予約制）。

044-944-7941

中野島1-7-10

9:00～18:00（詳細はWEBサイト参照）

※天候や生育状態により変更の場合有



梅

岸井梅園

約60年前、台風の土砂崩れで荒れ果てた農地を再生しようと植えられた梅の木。現在も2代目園主の岸井洋一さんが、約130本の木を守り続けている。2月中旬には花が見頃を迎える。5月中旬の収穫期には青梅の直売も行われる。

044-977-6107

長沢2-8961



な-4



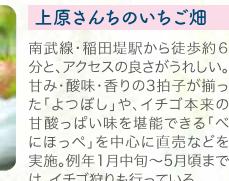
イチゴ

Strawberry Farm BUNKAEN

多摩区で初めて2018年に開園したイチゴ農園。若手農業者として新たな試みに積極的な園主の北見純一さんは、量より質を重視した栽培方法の改善に取り組んでいる。収穫は12月末から、2月頃からはイチゴ狩りも行っている。

090-4373-1583 金沢1-8-12 な-2

不定休（WEBサイト参照）



な-1



上原さんちのいちご畑

南武線・稲田堤駅から徒歩約6分と、アクセスの良さがうれしい。甘み・酸味・香りの3拍子が揃った「よつぼし」や、イチゴ本来の甘酸っぱい味を堪能できる「ベニヒロ」を中心に直売などを実施。例年1月中旬～5月頃まで、イチゴ狩りも行っている。

090-4226-1515

菅原堤1-12-27

月・金曜

